

弓達 秀樹 議員



一問一答方式

- ①市民の健康増進
- ②働き方改革
- ③幼児教育・保育現場の環境整備と保育士の処遇改善
- ④肱川流域の水害対策

市民の健康増進について

**問** 市民の健康増進への願いをかなえるために、夜間でも安心して

ウォーキング等をしたいという女性の声を生かしたジョギング、ウォーキングができるコースの整備等を検討するつもりはないか。

**答** 夜間に安心してウォーキングやジョギングをしていただくためには、総合体育館にあるジョギングコースやランニングマシンを利用す

ることも一つの方法であり、雨の心配もないので、ぜひご利用いただきたいと考えています。

また、屋外なら複数人で街灯のある安全な場所を利用し、反射たすきやライトの使用、明るい色の服の着用など、安全面には十分留意し、楽しんで健康づくりを行っていただきたいと考えています。

市教育委員会では、来年度スポーツ推進計画を策定する予定です。その際、市民の皆様のさまざまなニーズを把握するアンケートも実施する予定です。ウォーキング等に関する項目も含め調査を行い、健康づくりとスポーツ振興の両面からウォーキングコース等も検討していきたいと考えています。

幼児教育・保育現場の環境整備と保育士の処遇改善について

**問** 幼稚園や保育所などの施設は一般的に子供に配慮された間取り

となっており、トイレなどの設備は大人への配慮はほとんどない。今後統合、新設される認定こども園や存続する旧施設では大人への配慮が必

要と考えるがどうか。

また、全ての施設に職員休憩室を設置するような施設整備を進めることはできないのか。

**答** 幼稚園や保育所で働く職員はほとんどが女性のため、男女専用の更衣室やトイレは整備されていませんが、男性保育士の雇用や来客者の使用も考えられるため、整備する施設では規模に応じてトイレの数を増やすなど検討し、既存の施設も職員が利用しやすい施設となるよう現場の意見を取り入れながら必要な対策を講じたいと考えています。

また、現在職員専用の休憩室が整備されているのは5施設で、その他の施設は職員室や使用していない部屋などを利用して休憩しています。今後、職員が落ちついて休憩できる空間が確保できるよう、トイレなどの施設整備とあわせて検討したいと考えています。

肱川流域の水害対策について

**問** 橋の架設や特殊な技術が必要とする事業は、大手建設業者の単

独受注やジョイントベンチャーとな

ることは仕方ないが、築堤や暫定堤防のかさ上げなど地元の事業者で賄える事業は、できる限り地元事業者による施工ができるような配慮をお願いしたいと考えるが、広い範囲の工区の各事業をどのように進めるつもりなのか。

**答** 国、県ともに、激特事業の各工事の発注は、これまで同様地元業者に受注機会が多くなるよう施工計画を検討しながら配慮していく予定と聞いています。

しかし、激特事業は5年間という限られた期間で広範囲を効率よく整備するため高度な技術提供も必要であり、地元業者だけで工事を遂行できない場合もあるかと思いますが、ご理解をお願いします。

事業の実施は、現在実施箇所において、事業や用地取得のご理解ご協力をいただくため、地元説明会を各地区で開催するなど、激特事業が円滑に進捗できるよう努めているところであり、用地協力が得られたところから上下流のバランスを考慮しつつ、順次工事を行っていく予定と聞いております。